

第2回日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議 議事概要

日時：令和8年2月6日（金） 14：00～15：40

場所：宮崎県庁防災庁舎防74号室

日南線油津駅から志布志駅までの区間における現状や課題を共有し、将来のあり方を検討する「日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議」について、第2回検討会議を開催したところであり、その議事概要は以下のとおり。

1 開会

2 挨拶【会長：宮崎県総合政策部総合交通課長】

- ・第1回会議では、日南線の油津～志布志間について、将来にわたってどのような地域公共交通が望ましいか議論していくという認識を共有するとともに、アンケート等によるデータ収集を行うことが確認された。
- ・前回の議論を踏まえ、昨年12月に乗込調査による利用者へのアンケート及び沿線6つの高校の生徒へのアンケート調査を実施した。
- ・調査結果を踏まえ、忌憚ない意見交換をお願いしたい。

3 報告事項

事務局から資料1及び2について説明。

4 意見交換

報告事項を受け、委員による意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

【自治体】

- ・改めて学生の利用が多いことが把握でき、また、70歳以上の方の利用が少ないという実態も把握できた。
- ・鉄道を利用していない方が、他の公共交通を利用しているというわけでもない実感である。
- ・高齢者などが利用していない状況について、高齢者の生活パターンなどの背景も含めて調査などを行うべきではないか。

【九州旅客鉄道株式会社】

- ・運行本数に関する不満が多かったという事実は真摯に受け止めたい。
- ・一方で、第1回会議で示したとおり、会社発足当初から近年まで運行本数の維持に努めてきたが、利用者が下げ止まらなかった事実もある。
- ・アンケート結果から、通学時間帯における利用の集中、駅までの送迎による家族の負担、駅までの徒歩時間等が今後の議論の課題となると考えている。

- ・ 高校生が、通学以外でも鉄道を利用していただいているのは有難いが、平均通過人員の数字を見ると、利用頻度は少ないと想定される。
- ・ 今回の調査で把握できていない、鉄道を利用していない社会人や高齢者に対する調査を実施するのが良いのではないか。

【有識者】

- ・ 公共交通に合わせて高校の始業時間を見直すなどといった手法も考えられるのではないか。
- ・ 地域公共交通や移動などに係る既存の調査結果などの活用も検討するとよいのではないか。

意見交換後、会長より、以下のとおりまとめがあり、すべての委員が同意。

- ・ 次回の会議までに、今回の調査で把握できていない鉄道を日常的に利用していない方に関する意見を把握することとし、その方法等については、今後、事務局等で検討し、委員に諮った上で実施する。

以上